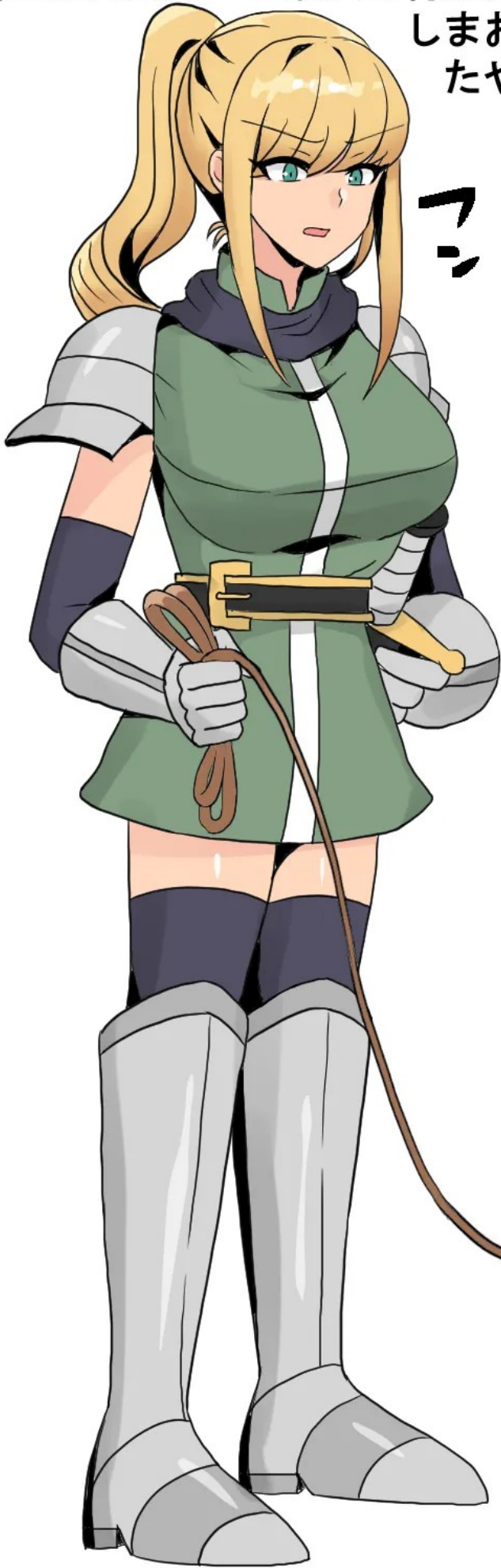
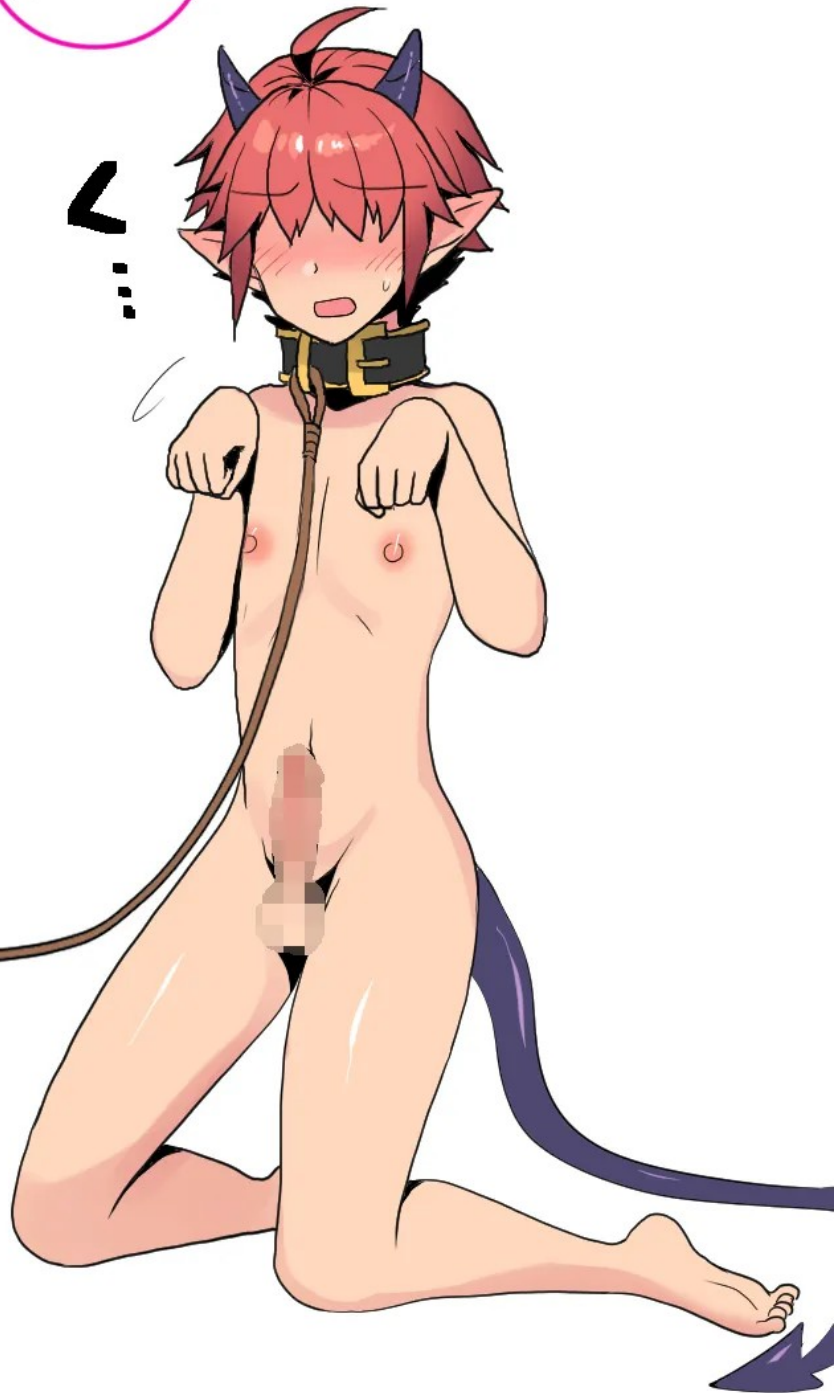


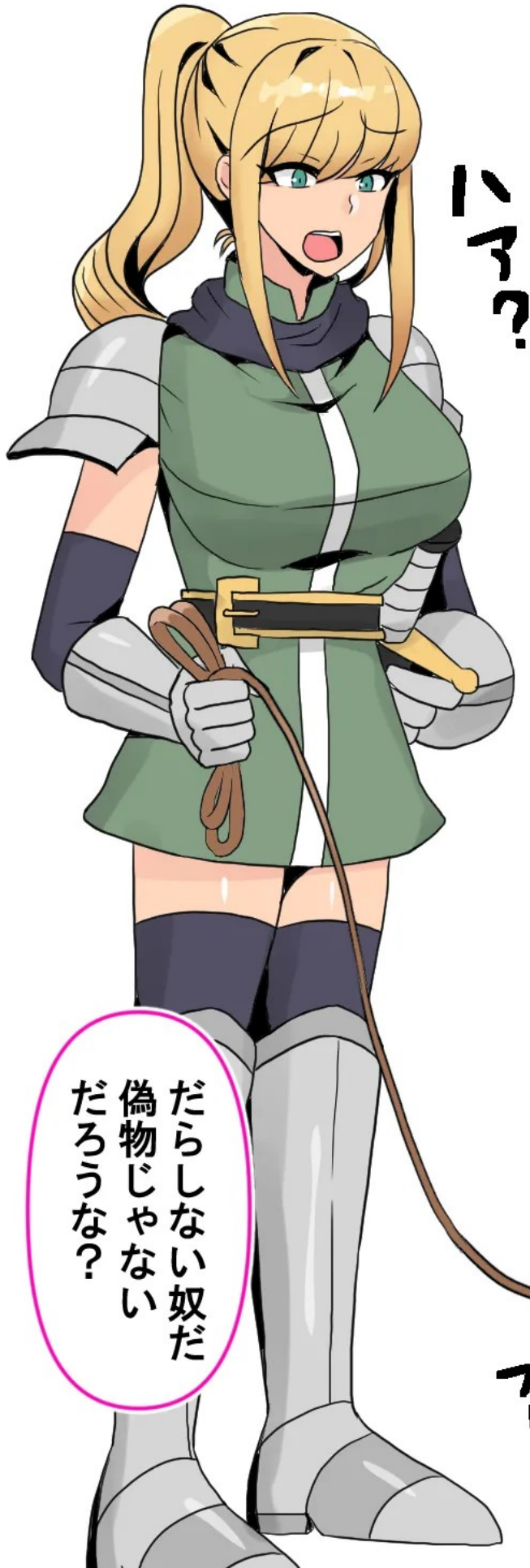
魔王は人間界への最大の脅威。ならば、魔王が力を付ける前に狩ってしまおうと、人間の国の女王が兵を派遣した。たやすく捕えた魔王は、まだ少年だった。



まあいい、  
魔物どもの淫紋で  
魔力を封じておくか

こんなのが  
魔王か？





ハア?

ハア?  
貴様、魔王のくせに  
こんなちやちな淫紋で  
射精しているのか?  
自分たちの術だろう

あっ♡  
あっ♡



あーっ  
あーっ

おんおんおん

キキキ

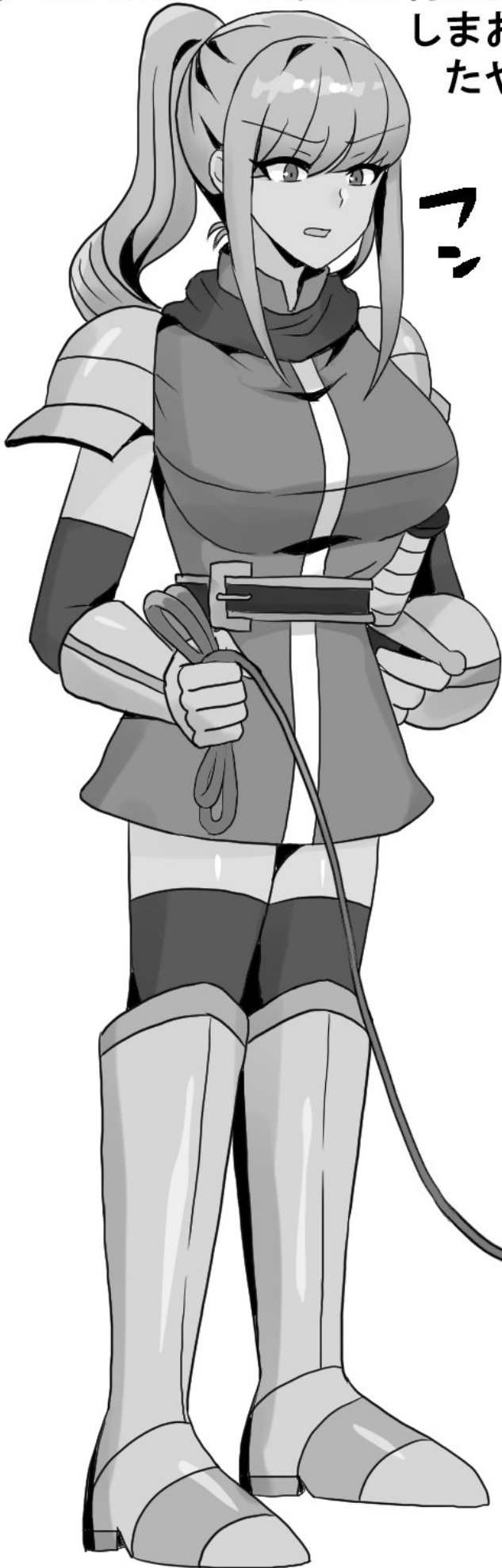
ブル

ブル

だらしのない奴だ  
偽物じゃない  
だろうな?

兵たちは、これまでさんざん魔物にてこずらされてきたため、拍子抜けして、次々と侮蔑の言葉を投げかけた。

魔王は人間界への最大の脅威。ならば、魔王が力を付ける前に狩ってしまおうと、人間の国の女王が兵を派遣した。たやすく捕えた魔王は、まだ少年だった。



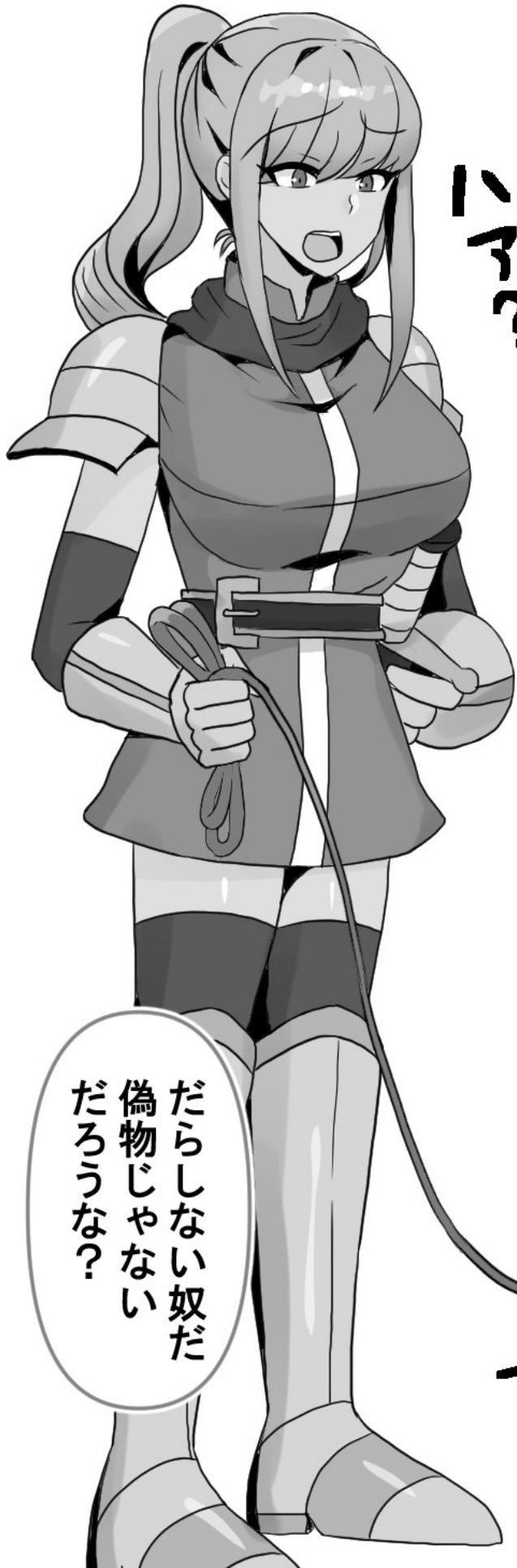
フン

まあいい、  
魔物どもの淫紋で  
魔力を封じておくか

こんなのが  
魔王か？



く...



ハア?

貴様、魔王のくせに  
こんなちやちな淫紋で  
射精しているのか?  
自分たちの術だろう

あっ♡  
あっ♡



だらしのない奴だ  
偽物じゃない  
だろうな?

兵たちは、これまでさんざん魔物にてこずらされてきたため、拍子抜けして、次々と侮蔑の言葉を投げかけた。

ふがない魔王の様子を不審に思った兵たちは、本物かどうかを尋問することにした。  
しかし、王女からは無傷で王城に引き立てるようにと命令されている。

どうやって  
尋問する？  
口を割らせるには  
拷問しないと  
仕方がない

では、やはり  
あの方法だろうか

ふふふ、  
なるほどな



兵たちは、淫紋によって勃起させられている魔王のち〇ぽを握りこみ、激しく扱く。



貴様が本物だろうと  
偽物だろうと、

嘘を吐く余裕がない  
ぐらい追い詰めてやる

おほおおっ♥

やっ、  
やめろおっ♥

オホオホオホ  
オホオホ

そうすれば  
貴様の言葉を  
信じてやるぞ



魔王は、真偽を確かめるために、性的な拷問を受けることになった。  
しかし、どうやら兵士たちはこの拷問を楽しんでいるらしい。

敵に捕まって  
勃起しているなんて、  
はしたない魔王ですこと

だ、黙れっ！  
これは淫紋の  
せいで……っ！

魔王と名乗るくせに、  
こんな淫紋にすら  
逆らえないとは  
怪しいものですわねえ？

くっ……！

ん、







魔王は、真偽を確かめるために、性的な拷問を受けることになった。  
しかし、どうやら兵士たちはこの拷問を楽しんでいるらしい。

敵に捕まって  
勃起しているなんて、  
はしたない魔王ですこと

だ、黙れっ！  
これは淫紋の  
せいで……っ！

魔王と名乗るくせに、  
こんな淫紋にすら  
逆らえないとは  
怪しいものですわねえ？

くっ……！



ほら、本当のことを話してしまいなさい隠すためになりませんよ？

貴方みたいな情けないボウヤが魔王のはずがありませんものね

もつとも、魔王でないのなら連行せずに処刑してしまいますけれど

ひっ……



ほらほら、  
早く言わないと  
お尻の穴が壊れて  
しまいますよ♥

ニム

フツフツ

チン

ガニョ

ちっ、  
ちめてくれええっ♥

ん  
いよよよよ

ん

ん

ん

兵たちは、憎き魔物どもの親玉である魔王を辱めることに、  
どこか背徳的な快感を覚えているのだった。

魔王かもしれない魔物が捕えられたと聞き、兵たちが駐屯している村の住民たちも、様子を見に連日訪れるようになった。



あら、これが魔王なの？  
なんだか弱そうね

おち〇ちん勃起させて、  
こんなみっともない  
魔物が世界を支配する  
つもりだというのかしら

ねえ、ボク？  
どうしてこの村にも  
兵士にも女しかいないのか  
って思ってるでしょう？

魔物との戦闘で、  
男はいなくなっ  
てしまったの

ヤム...

だから、みんな  
魔物の事が大嫌いな  
のよ



だから、ついつい  
意地悪したく  
なっちゃうのよねえ

王女様の命令だから、  
傷はつけないけど

あらあら、  
こんな程度で  
腰を振っちゃって

は、は、

は、は、

ん、ん

ん、ん

ずいぶん  
みっともない  
魔王様よねえ？

サッ  
サッ  
サッ



あはは、こんなので  
イツちやった♥  
惨めな気分よねえ？  
いいわ、いくらでも  
イカせてあげる♥

自分が無様な  
捕虜だという事を  
思い知らせて  
あげるから

おほおほ  
おほ



女たちは魔王の事を憎んでいたが、同時に、久々に見る男の身体に欲情している様子だった。性的拷問は、徐々に肉欲のはけ口の様相を呈していった。

この魔物、淫紋のせいでおち○ちんへのどんな刺激も耐えられないみたい

うふふ、本当かしら？  
試してみようかな

ならあたしが  
虐めてあげる

んんんん

ん



ほらほら、  
人間のおっぱいで  
責めちゃうよ♪



魔王のくせに  
興奮してんじや  
ないわよ

乳首ビンビンに  
勃起してるゝ  
ウケるんだけど

あー

あー

クネ

クネ

クネ

クネ

♪



魔王への拷問は、女たちが入れ代わり立ち代わり訪れるので、寝る間もないほどだ。

そろそろ  
本当のことを  
話す気になっ  
たんじゃない？

うぐぐぐ！

だ……だからっ……！  
俺は魔王で……っ！

ずっとそう言ってるけど、  
処刑が怖くて嘘ついてる  
だけなんじゃないの？

うぐ……！  
う、嘘じゃないっ！

魔王なら、これぐらい耐えられるよねえ？

ムリッ

チーンチーン

フッフ

ヤッ

やっ、やめろおっ♡

フッフ、  
耐えないと処刑かな♡

そっ、そんなんっ！  
いつ、淫紋のせいっ！



あらら♥  
イツちやった

ガッ

ガッ

おっおっおっ  
おっおっおっ  
おっおっおっ

PC

ガッ

ガッ

いっおっおっ  
いっおっおっ  
いっおっおっ

いっおっおっ  
いっおっおっ  
いっおっおっ

ガッ

やめっ♥  
こっ、これはっ♥  
違っ…♥

ガッ

仕方ないなあ♥  
もう一回チャンスね♥  
ほら、我慢我慢♥

あっ♥ あっ♥  
いっ、今吸ったらっ♥  
おおおっ♥  
また出るううっ♥

村の女たちは、明らかにこの拷問を楽しみ、復讐心と加虐心を満足させている様子だ。  
魔王であることをいくら訴えても、誰も聞く耳を持たなかった。  
魔王であることを認めてしまえば、  
王女の待つ城へと  
連行するしかないからだ。



ほら、今日も  
お射精の時間  
だよ♡



口の利き方が  
なってないわねえ？  
お仕置きが必要みたい

あっ♡ やっ、やめろっ♡  
いっ、いい加減にしるよっ♡

あー  
ぐんぐん

やめっ♡  
ひいっ♡  
イツてるっ♡

ほらほらほらっ♡  
もっと出しなさいっ♡  
まだまだ止めないからねっ♡

淫紋の効果で、魔王は終わりなく射精させられ、慰み者になるのだった。

村の女たちは、明らかにこの拷問を楽しみ、復讐心と加虐心を満足させている様子だ。  
魔王であることをいくら訴えても、誰も聞く耳を持たなかった。  
魔王であることを認めてしまえば、  
王女の待つ城へと  
連行するしかないからだ。







村の女たちは完全に尋問の意味を見失っていたが、兵たちはさすがに真偽を質すことを忘れてはいない。

しかし、今の状況を面白がっていることは、村の女たちと同様だった。



うふふ、  
魔王か否か、  
これでは判別が  
つきませんねえ

クスクス  
しかし、偽物を  
王城に運び込む  
わけにもいくまい

そうだな、  
こいつの体にたっぷり  
聞いてみるしか  
ないだろうな



こんなものでも  
感じてしまう  
らしい

何か言うことは  
ないのか?  
喋ってみる

尋問のされすぎで  
すっかり尻の快感に  
目覚めたようだな

はっ!

ズッ!

フッ!



魔王なら  
魔王だと  
言ってみろ

まっ♡  
まおっ♡  
おっ♡  
おっ♡  
おっ♡

聞こえんな  
やはり偽物か？

おっ♡  
うおっ♡  
おっ♡

いくら真実を答えても、兵たちは信用しようとしな  
この尋問には、正しい答えなど始めから存在しないのだった。

村の女たちは完全に尋問の意味を見失っていたが、兵たちはさすがに真偽を質すことを忘れてはいない。

しかし、今の状況を面白がっていることは、村の女たちと同様だった。



うふふ、  
魔王か否か、  
これでは判別が  
つきませんねえ

クスクス  
しかし、偽物を  
王城に運び込む  
わけにもいくまい

そうだな、  
こいつの体にたっぷり  
聞いてみるしか  
ないだろうな

こんなものでも  
感じてしまう  
らしい

フン

ズン

はっ

何か言うことは  
ないのか？  
喋ってみる

尋問のされすぎで  
すっかり尻の快感に  
目覚めたようだな





魔王なら  
魔王だと  
言ってみろ

まっ♡  
まおっ♡  
おっ♡  
おっ♡

聞こえんな  
やはり偽物か?

おっ♡  
うおっ♡

いくら真実を答えても、兵たちは信用しようとしな  
この尋問には、正しい答えなど始めから存在しないのだった。

魔王らしき魔物を捕らえたという報せからいっこうに進展がなく、しびれを切らした王女から使いが来て、魔王はようやく城へと連行されることになった。

仕方がない  
貴様を城まで  
馬に乗せていく

だが、楽に城まで  
たどり着けると  
思うなよ



鞍におもちやを  
付けてやったぞ

貴様はこれが  
好きらしい  
からなあ

城までの道中、  
近隣の町や村から  
見物人も来るだろう  
楽しませてやるんだな

はーん

ズン





魔王らしき魔物を捕らえたという報せからいっこうに進展がなく、しびれを切らした王女から使いが来て、魔王はようやく城へと連行されることになった。

仕方がない  
貴様を城まで  
馬に乗せていく

だが、楽に城まで  
たどり着けると  
思うなよ



鞍におもちやを  
付けてやったぞ

貴様はこれが  
好きらしい  
からなあ

城までの道中、  
近隣の町や村から  
見物人も来るだろう  
楽しませてやるんだな

はーん

ズン



城までの距離は、軽く20キロはある。その間中、揺れる馬の上で  
耐え続けなければならないのだった。



何とか城にたどり着いても、魔王の苦難は終わらない。

やだ、  
汚れてるじゃない

こんなのを  
そのまま王女様に  
謁見させるわけには  
いきませんわ

ぜくんぶ  
洗わなくちゃね

うっすら...



魔物に触るなんて  
嫌よね  
こんな子足で十分

こんな所で  
おち○ちん  
勃起させてる  
なんて

スッ  
スッ

スッ  
スッ

はしたない  
これで魔王なの？

やだ、ちよつと  
何かビクビクしてない？

んっ



あははっ、  
ちよっと擦ったら  
何か出てきたんだけど♥

もう、「れじゃ  
きれいにならない  
じゃない

もっと擦れば  
いいんじゃないの？  
きれいになるまでさ

そうよね  
もっといっぱい  
磨かなくちゃ♥





あれっ♥  
また出てる♥

磨き方が  
足りないんだって♥

やめっ♥  
もっ♥  
やめろおっ♥

きれいになるまで、  
しっかり洗って  
あげなくちゃね♥

城についてからも、魔王の身体は女たちに弄ばれ続けるのだった。

何とか城にたどり着いても、魔王の苦難は終わらない。

やだ、  
汚れてるじゃない

こんなのを  
そのまま王女様に  
謁見させるわけには  
いきませんわ

ぜくんぶ  
洗わなくちゃね

うっすら...



魔物に触るなんて  
嫌よね  
こんな子足で十分

こんな所で  
おち○ちん  
勃起させてる  
なんて

フッ  
フッ

フッ  
フッ

はしたない  
これで魔王なの？

やだ、ちよつと  
何かビクビクしてない？

んっ



あははっ、  
ちよっと擦ったら  
何か出てきたんだけど♥

もう、「れじゃ  
きれいにならない  
じゃない

もっと擦れば  
いいんじゃないの？  
きれいになるまでさ

そうよね  
もっといっぱい  
磨かなくちゃ♥





そして、ようやく魔王は王女の前に連行され、謁見することになった。  
玉座の前に跪かされた魔王は、弱々しくも王女を睨みつける。

これが魔王か？  
貧弱そうだが

は、まだ詮議の  
途中で「ぎょいす

しかし、不服そうな顔だ  
自分の身分が分かって  
いないと見える



王女の命令で、侍女が魔王の隣に座り、手を股の間に差し入れる。

王女様の前で  
生意気な顔は  
許しませんよ

フッ

ヒュー

はっ

あ

ひゅん

ひゅんひゅん

くっくそ……っ！  
放せえ……っ！

貴方のような  
無様な捕虜は、  
わたくしたち  
人間に跪いて  
鳴いていれば  
いいのです



敵である王女の目の前で射精させられ、屈辱に身体が熱くなる。



そうですね、  
やればできるでは  
ありませんか♥

ほら、王女様の  
お話が終わるまで、  
そうして哀れに  
射精していなさい♥

しかし、今の魔王にできることなどなにもなく、  
ただ辱めを受け入れることしかできないのだった。

そして、ようやく魔王は王女の前に連行され、謁見することになった。  
玉座の前に跪かされた魔王は、弱々しくも王女を睨みつける。

これが魔王か？  
貧弱そうだが

は、まだ詮議の  
途中で「ぎょいす

しかし、不服そうな顔だ  
自分の身分が分かって  
いないと見える



王女の命令で、侍女が魔王の隣に座り、手を股の間に差し入れる。

王女様の前で  
生意気な顔は  
許しませんよ

フッ

ヒュー

はっ

あ

ひゅ

ひゅひゅひゅ

くっくそ……っ！  
放せえ……っ！

貴方のような  
無様な捕虜は、  
わたくしたち  
人間に跪いて  
鳴いていれば  
いいのです



敵である王女の目の前で射精させられ、屈辱に身体が熱くなる。



そうですね、  
やればできるでは  
ありませんか♥

ほら、王女様の  
お話が終わるまで、  
そうして哀れに  
射精していなさい♥

しかし、今の魔王にできることなどなにもなく、  
ただ辱めを受け入れることしかできないのだった。

王女との謁見をすませた魔王は、王城内に幽閉されることになった。  
しかし、ただ遊ばせておくのはもったいないので、  
対魔物用の魔淫具の実験台として  
活用されている。



今日は乳首を  
改造してみるか

着脱式の魔淫具は、身に着けるだけで一時的に身体を改造することができる。



乳首を扱いてやる  
どうだ？  
ち○ぽのように  
敏感に感じるだろう

あっ♡ あっ♡  
やっ、やめろっ♡  
そんなと「……っ♡



あああっ♡  
う、うそだろっ♡  
イクっ♡ ち、乳首でっ♡  
イクううっ♡

ははは、もう乳首で  
イクようになったか  
感度も良好だな

この魔淫具を使って  
魔物どもを  
これからたっぷりと  
可愛がってやるからな



魔淫具にはたくさんの種類があり、魔王は毎日実験台にされた。



んっ...

動きを封じられて、  
拷問もしやすいし、  
一石二鳥だもんね

今日は巨根になる  
リングでも試そっかなあ

う、嘘だろっ！  
こんな…っ！

あはは、怖がらなくて  
いいんだよ

いつもの何十倍も感度が  
上がったちゃうけどね♡

「さっす」

「さっす」

ムクムク







魔淫具による実験は、魔淫具の改良の度に行われる。  
その都度、より強力、凶悪な快樂が魔王を襲った。

アナルをケツま〇こに  
作り替える魔淫具を  
改造したわ♡

真っ先に貴方で  
試してあげる♡

お尻を虐められるの  
だあい好きだものね♡

い…嫌だ…っ！  
好きじゃない…っ！



本当？ なら、  
何でそんな声  
出てるのかしらあ？

ひっ♡ おっ♡  
ちっ、違っ♡

違わないでしょ？  
ケツま〇こで今にも  
イキそうなんでしょ？



魔王としてのプライドは、こんな日々の中でずたずたに傷つけられていくのだった。

はい、イッた〜♥  
メスイキしたご褒美に、  
もっとイカせてあげる♥

ほらほら、我慢しないと  
ずっとイキっぱなしに  
なっちゃうわよ〜♥



魔淫具による実験は、魔淫具の改良の度に行われる。  
その都度、より強力、凶悪な快樂が魔王を襲った。

アナルをケツま〇こに  
作り替える魔淫具を  
改造したわ♡

真っ先に貴方で  
試してあげる♡

お尻を虐められるの  
だあい好きだものね♡

い…嫌だ…っ！  
好きじゃない…っ！



本当？ なら、  
何でそんな声  
出てるのかしらあ？

ひっ♡ おっ♡  
ちっ、違っ♡

違わないでしょ？  
ケツま〇こで今にも  
イキそうなんでしょ？



魔王としてのプライドは、こんな日々の中でずたずたに傷つけられていくのだった。

はい、イッた〜♥  
メスイキしたご褒美に、  
もっとイカせてあげる♥

ほらほら、我慢しないと  
ずっとイキっぱなしに  
なっちゃうわよ〜♥



村同様、城の中にも男はいない。寂しさを埋めるため、城の女たちはいつしか魔王の身体を使って性欲を処理するようになっていた。



ほら、早く来なさい  
奴隷君♥

1対多数で、抵抗のしようもなく、魔王は女たちから逆レイプされる。



あはは、ちっちゃいけど  
おち○ちゃんは おち○ちゃん  
だもんねえ♥

魔物と人間だから  
妊娠しないし  
生でできるから♥

淫紋と日ごろの魔淫具実験のせいで、魔王は性の抵抗力を失いすぐに射精してしまう。



ほら♥ がんばれがんばれ♥  
お姉さんまだイッてないよ??

おち○ちん柔らかくなったら、  
お仕置きに亀頭ゴシゴシ  
しちゃうからね♥

もう、ズルい♥  
次あたしね♥

しかし、女たちを全員満足させるまで、魔王は解放されることなくち○ぽを搾られるのだった。

日ごろから性欲をためていた女たちの欲望はすさまじく、  
尽きることがない。

いつ来ても  
ち○ぽを勃起  
させおって

稽古の合間に  
寄ってやったぞ  
たっぷりと  
搾り取ってやる



わずかな時間でも、ち○ぽを休ませる暇はないのだった。

時間がないから  
さっさと  
済ませないとな

騎乗位で  
鳴かせてやる

ククク

魔王と言うからには、  
あまり早くイッてくれるなよ？

ズン

ズン

ズン





王女の命令で進められていた魔淫具開発で、  
ついに最強の魔淫具が発明された。



フ、フ、フ、

2

装着すれば、急所に触れただけで魔物を射精させるというものだ。



どうっ?  
この魔淫具♥  
気持ちいい?

太ももに触っただけで  
おち○ちん  
ヒクヒクしてる♥

さっ、触るなあっ♥

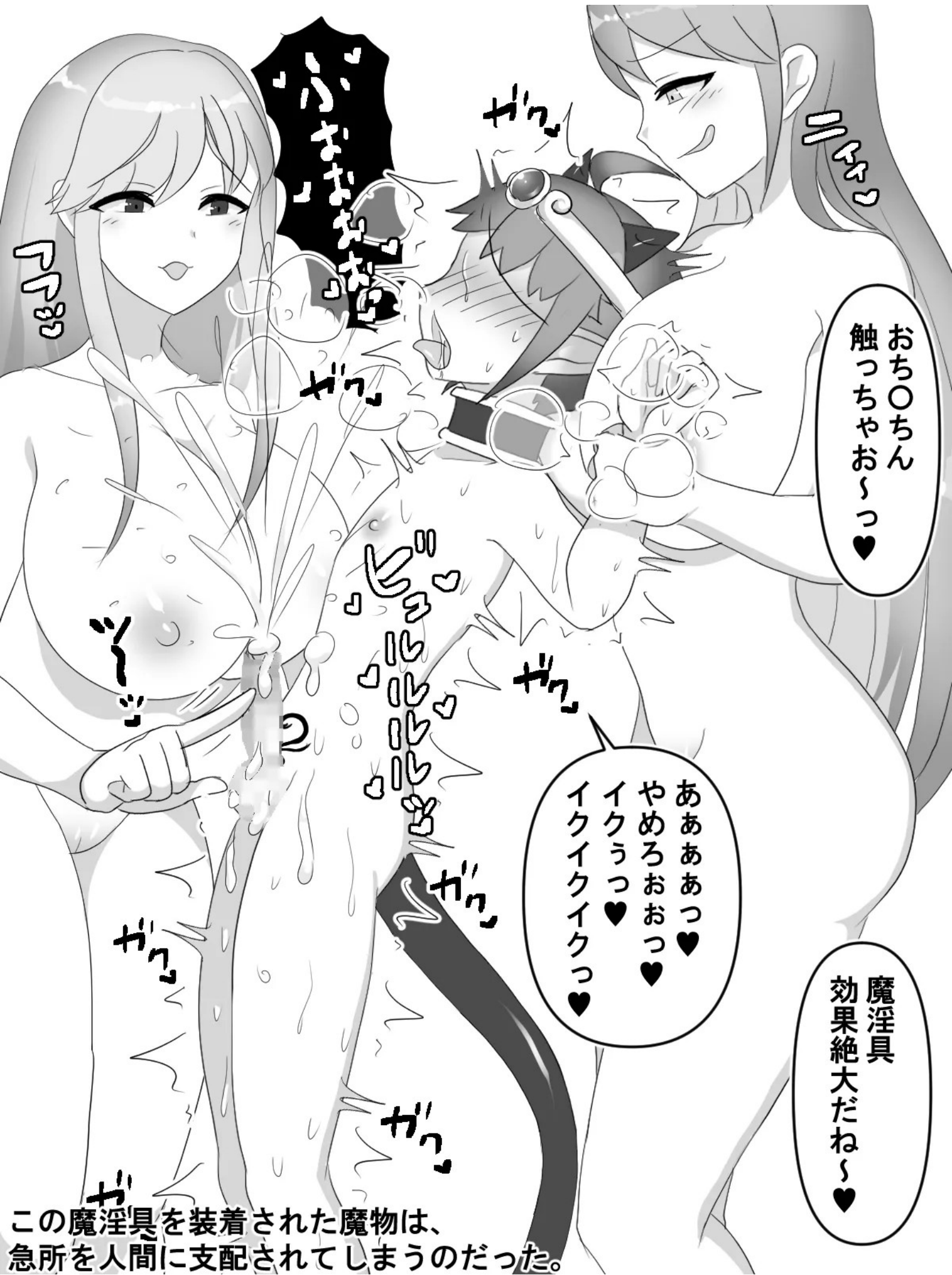
ヤキッ

おっおっ

きゅきゅ

フーッ  
フーッ





おち○ちん  
触っちやおっ♡

ああああっ♡  
やめろおおっ♡  
イクうつ♡  
イクイクイクっ♡

魔淫具  
効果絶大だね♡

この魔淫具を装着された魔物は、急所を人間に支配されてしまうのだった。

王女は、魔王が心から人間に従順になるまで、この魔淫具を外すことを許さなかった。



魔王は心を入れ替えるまで物のように廊下に展示され、更生の機会を与えられた。

しかし、もちろん何の責めもないはずがない。

またお掃除  
しなくっちゃ  
♥



あら、こんな  
ところにも汚れが♥  
困りますわねえ♥

通りがかりの兵士や使用人、メイドたちは、魔王の更生に協力するため、暇さえあれば身体を弄んで遊んで行った。

おかしいですわあ♥  
擦っても擦っても  
汚れるばかりで♥



あっ♥ あっ♥  
やっ、やめろおっ♥  
ち…乳首は…っ♥

これじゃあ、  
いつまでたっても  
お掃除が終わり  
ませんわねえ♥



王女は、魔王が心から人間に従順になるまで、この魔淫具を外すことを許さなかった。



魔王は心を入れ替えるまで物のように廊下に展示され、更生の機会を与えられた。

しかし、もちろん何の責めもないはずがない。

またお掃除  
しなくっちゃ  
♥



あら、こんな  
ところにも汚れが♥  
困りますわねえ♥

通りがかりの兵士や使用人、メイドたちは、魔王の更生に協力するため、暇さえあれば身体を弄んで遊んで行った。





魔王は、永遠とも思える快樂地獄に音を上げ、ついに人間に服従することを誓った。

王女は、完全に服従した奴隷でないと身の回りに置けないために、一度も魔王のち○ぽを試してはいないのだ。

ようやくその気になったのだな  
これで、  
わたくしも  
そなたで遊べる  
というものだ

もしわたくしの  
気に入れば、  
これからは専用の  
ペットとして  
後宮に置いてやろう

ぐんぐん



ほう、小さいが  
なかなかよいな

では、好きに  
動かせてもらおうぞ

うぁい

びん

ズン

あっ♡  
…ああっ♡





なんとか王女に気に入られた魔王は、めでたくペットとして飼われることになった。



お楽しみの時間だ

フフフ

ほれ、ポチ、  
来るが良い♡

魔淫具も完成したことで、以前のように苦痛を伴う射精地獄も味わわなくていい。魔王は今の身分に満足していた。

おまけに、毎日豊満な肉体で性欲を満足させてもらい、いう事なしだ。

ほれ、もっと腰を振らんか♥  
あまりだらしないようだと、  
魔淫具で無理やり精力を  
増強させてしまおうぞ♥

もっ、申し訳ありませんっ♥

分かればよい♥  
では、中に出して  
わたくしを満足させよ♥

ウフッ

はっ  
はっ

もっ  
もっ

ズッパッ

魔王は、今後王女の性欲を処理するためだけのペットとして一生を終えるのだった。



よいのお♡  
そなた、これからもペットとして  
わたくしだけに腰を振るのだぞ♡

はいっ♡  
ありがとうございますっ♡

なんとか王女に気に入られた魔王は、めでたくペットとして飼われることになった。



お楽しみの時間だ

フフフ

ほれ、ポチ、  
来るが良い♡

魔淫具も完成したことで、以前のように苦痛を伴う射精地獄も味わわなくていい。魔王は今の身分に満足していた。

おまけに、毎日豊満な肉体で性欲を満足させてもらい、いう事なしだ。

ほれ、もっと腰を振らんか♥  
あまりだらしないようだと、  
魔淫具で無理やり精力を  
増強させてしまおうぞ♥

もっ、申し訳ありませんっ♥

はっ、はっ

もっ、もっ

分かればよい♥  
では、中に出して  
わたくしを満足させよ♥

ズッパッ

魔王は、今後王女の性欲を処理するためだけのペットとして一生を終えるのだった。

よいのお♡  
そなた、これからもペットとして  
わたくしだけに腰を振るのだぞ♡

はいいつ♡  
ありがとうございますっ♡

